

## 平成25年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成26年3月

明石市（兵庫県）

○計画期間：平成22年11月～平成28年3月（5年4月）

### I. 中心市街地全体に係る評価

#### 1. 平成25年度終了時点（平成26年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市の中心市街地活性化基本計画は、平成22年11月に内閣総理大臣から認定を受け、「人々の暮らしを海、食、時で彩るまちに」を基本コンセプトに、「便利で暮らしやすいまち」、「一歩足を伸ばして楽しめるまち」を目標に、官民一体となって活性化を進めているところである。

しかしながら、近年の経済不況や、隣接する神戸や阪神間の大都市における大規模商業施設の開業、中心市街地の南において、長年、本州と淡路、四国を結び、「たこフェリー」の愛称で親しまれていた明石淡路フェリーの航路廃止などの影響により、明石の中心市街地がおかれている状況は依然厳しいものとなっている。

そのような中、本基本計画の核事業である「明石駅前南地区再開発事業」については、平成23年3月に都市計画決定、平成24年9月には再開発組合が設立認可され、本格的に事業がスタートし、平成25年8月に権利変換計画が認可された。現在、解体工事が鋭意行われているところであり、周辺商業者や市民の支援もあり、権利者や行政が一体となって順調に事業を進めている状況にある。

また、再開発事業のハード整備だけではなく、行政としては、ビル内に整備する公共施設の内容を当初の「市役所窓口機能」だけではなく、市民目線で見直すことにより「図書館」や「子育て支援施設」などを拡充し、より便利な施設となるよう計画を進めているところである。

周辺の商業者においても、中心市街地の商店街が協力して連携し、食のまち明石をPRできるような「バル事業」や「販売促進事業」などのソフト施策を精力的に行っていることから、中心市街地の商店街区域における歩行者通行量においては、厳しい経済状況、商業環境の中、ほぼ横ばい状態を保っており、再開発事業完成後には活性化が持続、波及するような組織や雰囲気づくりといった、下支えとなる取組が着実に行われている状況である。

基本計画にある総事業44事業のうち、取組終了および取組中の事業は36事業となり、休止や未実施の事業は8事業となっている。

#### 2. 平成25年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

明石市と協議会では、計画認定後も年に1～2回は協議会を開催し、中心市街地の現状や活性化事業の取組状況について行政や民間が互いに報告、意見交換などを行っている状況である。

また、協議会の下部組織である商業活性化分科会では、商業者自らが行うイベント事業やソフト施策について毎月議論を行い、様々な事業を展開している。

そういった中、核事業として実施している再開発事業の内容について一定の評価を得ているが、工事期間中の周辺の通行量への影響が懸念されており、事業完成までのにぎわいの創出が課題であるとの意見がある。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
便利で暮らし やすいまち	都市福利施設利用者数 (人/年)	435,691 (H21)	478,000 (H27)	平成 26 年度フォローアップ		
一歩足を伸ばして 楽しめるまち	歩行者・自転車通行量 (人/日)	19,371 (H21)	21,000 (H27)	19,122 (H25)	—	③

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

歩行者・自転車通行量については、活性化事業の核事業である再開発事業がまだ完成しておらず、また、再開発エリアの商業施設が閉店し工事中であるにも関わらず、通行量はほぼ横ばい状況である。これは、空き店舗活用促進事業や商店街でのイベントなどのソフト施策の効果により通行量の減少を食い止めていると考えられる。

再開発事業については、公共施設の内容を「図書館」などの利用者数が大きく見込める施設に見直したために若干のスケジュールの遅れが生じたものの、完成後はそれらの効果が中心市街地の通行量へ波及することが想定されることから、目標達成は十分可能と考えられるが、完成までの通行量の維持が今後の課題であり引き続きその他の事業を促進していく。

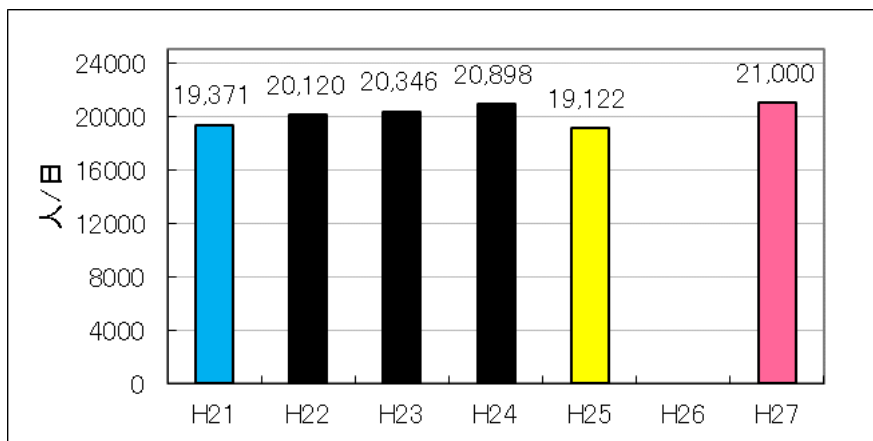
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P75～P82 参照

##### ●調査結果の推移



年	人/日
H21	19,371 (基準年値)
H22	20,120
H23	20,346
H24	20,898
H25	19,122
H27	21,000 (目標値)

※調査方法：毎年10月第3週の日曜および月曜の10時～18時の歩行者・自転車通行量の平均値

※調査月：平成25年10月

※調査主体：明石市

※調査対象：国道2号南側商店街区域内5地点

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 明石駅前南地区第一種市街地再開発事業（明石駅前南地区市街地再開発組合）

事業完了時期	平成23年度～平成27年度【実施中】
事業概要	明石駅前において耐震性と床の有効活用に課題を残す建築物を共同化し、商業や行政サービス施設、高層住宅からなる中心市街地の拠点となる複合施設を整備し、利便性や回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	平成23年3月に都市計画決定され、平成25年11月には解体工事が着手されたところである。 しかし、平成23年度に、より市民に利用される施設を目指すため、ビル内の公共施設の内容を見直したことにより、若干のスケジュールの遅れが生じているが、完成に向け事業は順調に進んでいるところである。

###### ②. 国道2号立体横断歩行者道路整備（明石市）

事業完了時期	平成23年度～平成27年度【実施中】
事業概要	明石駅前南地区再開発ビルから国道2号南側の商店街エリアまでの、国道2号を横断する立体横断歩行者デッキの整備。
事業効果及び進捗状況	平成25年5月に都市計画決定され、引き続き事業認可を受けて現在詳細設計を実施中であり、再開発ビルへの来街者を中心市街地全体に回遊させることを目的に、ビル完成と同時期に整備が完了するよう鋭意取組中である。

### ③. 【追加】図書館整備（明石市）

事業完了時期	平成 24 年度～平成 27 年度【実施中】
事業概要	現在、駅から離れた場所にある図書館を駅前の再開発ビル内に移転し、ビル内の他の施設などと連携し様々な世代の集客力を高める。
事業効果及び進捗状況	平成 23 年度に、より市民に利用される再開発ビルを目指し、市民の要望が多く、駅前への移転により利用者数の大幅な増加が見込まれる図書館を整備することとなった。 すでに基本計画検討や床購入に着手しており、今後は、詳細な機能や設備などの設計を行い、利便性の高い施設を目指していく。

### ④. 空き店舗活用促進事業（明石市）

事業完了時期	平成 22 年度～平成 27 年度【実施中】
事業概要	新たに空き店舗に出店する際の改装費や家賃の一部を補助することにより空き店舗を減少させ、来街目的の創出や魅力の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	これまで 8 件の店舗が採択され、課題であった商店街区域での空き店舗の一部解消を行うことができた。 これらの店舗の出店により、周辺の空き店舗も埋まり、周辺店舗への刺激を与えるなどの効果も発現された。

### ⑤. 春旬祭関連事業（明石市・明石市中心市街地まちづくり推進会議）

事業完了時期	平成 14 年度～【実施中】
事業概要	早春のイカナゴ漁の解禁にあわせ、魚の棚を中心に各商店街が連携して、明石らしい様々なイベントを行う。
事業効果及び進捗状況	平成 14 年度の第 1 回以降毎年実施し、例年 2 日間で約 3 万人の入場者で賑わっている中、拡幅された歩道でのフリーマーケットや、灯りを施した景観演出などの社会実験的施策もあわせて行い、新たな取り組みを取り入れ改善しながら実施している。 今後も魚のまち明石への愛着心を育み、市内外へ PR できるよう実施を進めていく。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

核事業である再開発事業において若干の遅れはあるものの、目標数値を達成できるような事業内容へ見直しを行い、事業は順調に進み、その他の事業についても官民一体となってあらゆる新しい施策を鋭意進めていることから目標達成は可能であると思われる。

今後は、再開発事業工事中の区域内の店舗が休止している間、まちの賑わいが減少しないよう、そして再開発事業が完成した後も、ビルと周辺商業エリアが相乗効果をもって活性化できるよう、様々な施策について行政と商業者が一体となって、具体的な事業を検討、実施していく。